

一緒に開けよう！まちの未来へつづく

鹿嶋市議会だより

とびら



No.98

(令和元年9月議会を掲載)

— CONTENTS —

特集 剣道×市議会 2・3 ページ

9月議会の概要……………4・5

常任委員会の活動……………6・7

平成30年度決算の事業評価 ……8・9

ここが知りたい！一般質問…10～22

きかせて！あなたの声……………23

きかせて！あなたの夢……………24



特集 剣道×市議会

次号の「とびら」は、令和2年2月1日発行予定です

大切に



剣道×市議会

スポーツを通して、学校や家庭では経験できない多くのことを学ぶことができるスポーツ少年団。今回は鹿島神宮武徳殿で日々稽古に励む鹿嶋剣道スポーツ少年団をご紹介します。



武道としての剣道を 剣道で培う思いやりと、武道の心



議 鹿嶋剣道スポーツ少年団の設立のきっかけは？

昭和43年の剣道教室が始まりました。

過去には小学校の体育館を借りて稽古をしていたこともありますが、今ではこの立派な道場で日々稽古に励んでいます。現在、就学前の年長者から小学6年生までの34人が参加しています。一時は10人を切るくらいまで減少したことがありましたが、広報などで募集し、市外からも小学生が集まっています。

議 床が跳ねていますね

床にはバネが入っていて、足を痛めないようになっています。御用材は神宮の森の木を使用しているんですよ。

議 子どもたちを指導する上で心がけていることは？

指導は、鹿嶋神宮道場十徳を基本としています。思いやりがあり、人の痛みがわかることを学んでもらう。長い歴史の中でこの道場出身の社会人が指導者となって戻ってきているのは誇らしいことです。ただ、指導者は何人もいますが、指導を一貫させて、教わる子どもたちが迷わないよう、4人の指導者に限定しています。また、年齢層ごとに目標・課題を決めて指導方針を変えています。

議 活動を続けていく中での苦勞などはありますか？

防具や稽古着などもリースやお下がりを活用するなど節約しています。
また、鹿嶋神宮、明治神宮、

乃木神社、日光東照宮、鶴岡八幡宮の5つの神社が毎年持ち回りで神社剣道錬成会を実施しています。日光での真冬の稽古では、零下十数度の中での稽古で厳しかったです。

議 これからの目標を教えてください

全国大会があり、それを大きな目標にしています。そのため、日々の稽古では、きちんとすり足ができるか、大きな声を出せるかなどの基本から稽古しています。夏は土用稽古、冬は寒稽古などで皆勤賞などを設けて、勝ち負けにこだわらず、一生懸命悔いのない試合ができることを目指しています。

近年、スポーツ剣道になりつつありますが、あくまでも武道としての剣道を大事に、鹿嶋神宮の行事に参加するなど神宮道場の特徴を生かしながら、これからも活動していきたいと思っています。

議 ありがとうございます

団員募集

活動日：毎週月・水・土曜日 19:00～20:30
場 所：鹿嶋神宮
対 象：幼稚園・保育園年長～中学生(男女)

申し込み
問い合わせ

鹿嶋神宮 小林さん・小池さん
☎0299-82-1209





こんなことが決まりました

8月29日～9月20日の23日間、令和元年第3回定例会が開催されました。市長から35件の議案が提出されたほか、委員会から2件の議案と2件の意見書が提出されました。議決結果は次のとおりです。

| 議案番号 | 議 案 名 | 結 果 |
|------------------------|--|------|
| 市長から提出された議案 35件 | | |
| 議案第40号 | 令和元年度鹿嶋市一般会計補正予算（第2号） | 原案可決 |
| 議案第41号 | 令和元年度鹿嶋市介護保険特別会計補正予算（第1号） | 原案可決 |
| 議案第42号 | 令和元年度鹿嶋市下水道事業会計補正予算（第1号） | 原案可決 |
| 議案第43号 | 令和元年度鹿嶋市水道事業会計補正予算（第1号） | 原案可決 |
| 議案第44号 | 鹿嶋市大野潮騒はまなす公園条例 | 原案可決 |
| 議案第45号 | 鹿嶋市特別用途地区における建築物の制限に関する条例 | 原案可決 |
| 議案第46号 | 鹿嶋市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例 | 原案可決 |
| 議案第47号 | 鹿嶋市特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 | 原案可決 |
| 議案第48号 | 鹿嶋市印鑑条例の一部を改正する条例 | 原案可決 |
| 議案第49号 | 鹿嶋市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例 | 原案可決 |
| 議案第50号 | 鹿島臨海都市計画事業鹿嶋市平井東部土地区画整理事業施行規程に関する条例の一部を改正する条例 | 原案可決 |
| 議案第51号 | 鹿嶋市行政財産の使用料徴収条例の一部を改正する条例 | 原案可決 |
| 議案第52号 | 鹿嶋市火葬場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 | 原案可決 |
| 議案第53号 | 鹿嶋市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例 | 原案可決 |
| 議案第54号 | 鹿嶋市農水産物直売所施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 | 原案可決 |
| 議案第55号 | 鹿嶋市農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 | 原案可決 |
| 議案第56号 | 鹿嶋市都市公園条例の一部を改正する条例 | 原案可決 |
| 議案第57号 | 鹿嶋市営駐車場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 | 原案可決 |
| 議案第58号 | 鹿嶋市道路占用料の徴収に関する条例の一部を改正する条例 | 原案可決 |
| 議案第59号 | 鹿嶋市公共物管理条例の一部を改正する条例 | 原案可決 |
| 議案第60号 | 鹿嶋市下水道条例の一部を改正する条例 | 原案可決 |
| 議案第61号 | 鹿嶋市コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 | 原案可決 |
| 議案第62号 | 鹿嶋勤労文化会館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 | 原案可決 |
| 議案第63号 | 鹿嶋市立小学校及び中学校のスポーツ施設の開放に関する条例の一部を改正する条例 | 原案可決 |
| 議案第64号 | 鹿嶋市運動施設条例の一部を改正する条例 | 原案可決 |
| 議案第65号 | 鹿嶋市立公民館の設置、管理及び職員に関する条例の一部を改正する条例 | 原案可決 |
| 議案第66号 | 鹿嶋市まちづくり市民センター及び地区まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 | 原案可決 |
| 議案第67号 | 鹿嶋市水道事業給水条例の一部を改正する条例 | 原案可決 |
| 議案第68号 | 鹿嶋市大野区域水道事業給水条例の一部を改正する条例 | 原案可決 |
| 議案第69号 | 損害賠償の額を定め、和解することについて | 原案可決 |
| 諮問第2号 | 人権擁護委員候補者の推薦について | 原案適任 |
| 認定第1号 | 平成30年度鹿嶋市一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定について | 原案認定 |
| 認定第2号 | 平成30年度鹿嶋市下水道事業会計決算認定について | 原案認定 |
| 認定第3号 | 平成30年度鹿嶋市水道事業会計決算認定について | 原案認定 |
| 認定第4号 | 平成30年度鹿嶋市大野区域水道事業会計決算認定について | 原案認定 |
| 委員会が提出した議案 4件 | | |
| 第4号議案 | 市長の専決処分事項の指定 | 原案可決 |
| 第5号議案 | 市内事業者に向けたオリンピックへの取り組みに関する講演会等開催の要望書 | 原案可決 |
| 意見書第3号 | 教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書 | 原案可決 |
| 意見書第4号 | 台風15号による農業施設及び農作物被害に対する支援を求める意見書 | 原案可決 |
| 議会へ提出された請願 1件 | | |
| 令和元年請願第2号 | 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願 | 採択 |

台風15号の被害を受けて、国・県に意見書を提出しました

■台風15号による農業施設及び農作物被害に対する支援を求める意見書

令和元年9月9日に本市を通過した台風15号で被災された農家の方々が営農意欲を失わず一日も早く経営再建できるように、以下のとおり特段の措置を講じるよう強く要望する。

①市とともに県・国は連携し、早期復旧のために地域の実情に応じた迅速かつ弾力的な対応を行うこと。

②被災農家に対し、県・国は農業経営安定に資するよう、必要となる財政支援をはじめ総合的な支援策を検討・実施すること。特に、ビニールハウス施設においては、甚大な被害が出ていることを踏まえ、早急な復旧のための措置を講じること。

【提出先】

茨城県知事、農林水産大臣、財務大臣

討論

■議案第51号 鹿嶋市行政財産の使用料徴収条例の一部を改正する条例から議案第68号 鹿嶋市大野区域水道事業給水条例の一部を改正する条例

反対 立原弘一 議員

行政が旗を振ってこの消費税増税に迎合する姿勢は許されるものではない。再配分、富める者が貧しい者のために税金を納める、低所得の皆さんに振り分けていく、これが本来あるべき税金の姿である。庶民いじめの増税を許すわけにはいかない。以上の理由で消費税増税に伴う使用料、利用料の負担増を強いる議案には反対する。

■認定第1号 平成30年度鹿嶋市一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定について

反対 立原弘一 議員

市長は2月に歴史資料館は白紙にするという発言をした。そういう中で、市長は当選されたが、その後もう一度話し合いをするのだと言って復活した。きちんと歴史資料館建設を公約に掲げて、再選挙すべきであ

る。賛成の人も反対の人もがっかりさせてしまったこの市長選挙はやり直すべきであると私は考える。これらの理由から、反対とする。

賛成 宇田一男 議員

市道0102号線の大幅な工事の進捗により、市民が待ち望んだ基幹道路が完成する目的が立ったことや、荒野台地区における雨水排水対策工事が順調に進むなど、市民の安心安全な生活環境が向上する大きな事業が実行された決算である。財政環境は大変厳しい中、財政指標についても好転が見られ、健全財政へ向け適正に執行された決算と評価している。

反対 佐藤信成 議員

宮中地区賑わい創出事業に含まれる歴史資料館建設に向けて市が執行している事業費と、その執行された結果については市民の多くを騙し、補助金を申請するために内閣府をも錯誤に陥らせ、不当に国の補助金を得ようとしているものではないか。この事業の問題点を指摘したが、事実と違う答弁、統計学上の根拠を求めているのにそれらに対して一切きちんと答えることができないということが判明した。ゆえに本事業に対する予算執行は、著しく不適切であるため、反対とする。

議員賛否一覧表

賛成=○、反対=×、棄権=△、欠席=-

※篠塚洋三議長は、採決に加わりません。

| 賛否が分かれた議案と議員(会派)の賛否結果 | 未来かしま | | | | | | 公明かしま | | 日本共産党 | | 幹会 | | 無所属 | | | | | | |
|---|-------|------|-----|------|------|-------|-------|-------|-------|------|-------|------|------|------|-----|------|-----|-----|------|
| | 飯塚俊雄 | 内田政文 | 根崎彰 | 池田芳範 | 坂本仙一 | 小池みよ子 | 栗林京子 | 小松崎敏紀 | 笹沼康弘 | 山口哲秀 | 樋口富士男 | 立原弘一 | 川井宏子 | 宇田一男 | 菅谷毅 | 舛井明宏 | 田口茂 | 河津亨 | 佐藤信成 |
| 議案第51号 鹿嶋市行政財産の使用料徴収条例の一部を改正する条例～議案第68号 鹿嶋市大野区域水道事業給水条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ |
| 認定第1号 平成30年度鹿嶋市一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定について | ○ | △ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × |

平成30年度の決算を審査

予算決算常任委員会では、4件の補正予算、4件の決算認定を審査しました。

主な質疑

■認定第1号 平成30年度鹿嶋市一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定について

問 ふるさと納税推進事業については、貴重な財源として今後も力を入れていくべきと思うが、どう考えているのか。

答 制度の厳格化に伴い、全ての自治体が一定のルールのもと、事業に取り組んでいくこととなる。ありふれたものでなく、鹿嶋市でしか出せない特徴的な返礼品で差別化を図ることが重要となってくると考える。

問 交流会館（歴史資料館）等多額の費用がかかるものが計画されている。市の

財政運営は大丈夫なのか。

答 試算で維持管理費が約6000万円、建設による起債の償還が約4500万円、年間で1億円程度の維持費がかかる。経常収支比率には0・7%程度の影響があるが、財政指標的には対応可能と考える。

【賛成討論】
財政指標は改善されたものも見られるが、今後は一層の事業改善が必要。

【反対討論】

歴史資料館の建設白紙は市民を欺くものである。全市民と議会との真摯な議論が必要。採決の結果、認定第1号については賛成多数をもって、その他の議案については全員賛成で、原案のとおり可決すべきと決定しました。

地方公務員法の一部改正に伴い、市の条例の一部を改正するための議案等を可決

総務生活委員会では、5件の議案を審査しました。

主な質疑

■議案第46号 鹿嶋市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

問 職員が成年被後見人となったときの把握はどのようにしているのか何う。本人からの申し出等によるところである。

答 職員が成年被後見人となったときの把握はどのようにしているのか何う。本人からの申し出等によるところである。

■議案第51号 鹿嶋市行政財産の使用料徴収条例の一部を改正する条例

問 消費税及び地方消費税の税率が引き上げられることに伴い、使用料等の改定を行うため、条例の一部を改正するもの。

問 使用料における消費税分は、税務申告等により納税を行うものか、納税しないならば市がもらっているものなのか。

答 水道・下水道等の企業会計は消費税課税となるので収支を管理し納税するが、市は非課税のため納税しない。物品の購入等で消費税を負担するため、経費として上昇することも考慮しての使用料の引き上げである。

【反対討論】

議案第51号から議案第53号について、市民生活や消費が冷え込んでいる中、国の消費税増税に伴い使用料を値上げするのではなく、市民に寄り添ったものとするべき。

採決の結果、議案第46号及び議案第47号は全員賛成で、議案第51号から議案第53号は賛成多数で、原案のとおり可決すべきと決定しました。

総務生活委員会

文 教 厚 生 委 員 会

消費税率改定に伴い、施設の使用料等を改正するための議案等を可決

文教厚生委員会では、議案9件、請願1件を審査しました。なお審査に先立ち、いきいきゆめプールの整備及び利用状況について現地調査を行いました。

主な質疑

■議案第61号 鹿嶋市コミュニケーションセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例、ほか消費税率改定に伴う施設の使用料及び利用料金の見直し等に関する6議案について

問 消費税率改定に伴う、公共施設等の使用料の値上げを市の独自の裁量で決められるのであれば、値上げはやめるべきではないかと考えるが、いかがか。

答 消費税の増税分は、使用料等に転嫁するという国の指導のもと、市としても統一的な対応をとるべきと

考える。

【反対討論】

消費税反対の立場から、消費税率引き上げに伴う施設の使用料及び利用料金の増額は、実施すべきではない。

採決の結果、議案第48号、議案第49号、議案第69号は全員賛成で、議案第61号から議案第66号は賛成多数で、原案のとおり可決すべきと決定しました。また、請願についても採択するべきと決定しました。



いきいきゆめプール

都 市 経 済 委 員 会

特別用途地区の建築物の制限条例案や市営駐車場の料金改定案などを可決

都市経済委員会では、12件の議案を審査しました。

主な質疑

■議案第45号 鹿嶋市特別用途地区における建築物の制限に関する条例

特別用途地区の建築物について必要な事項を定めるもの。

問 長栖地区の特別業務地区31ヘクタール内に流通業務は何社あるか。また市内で1万²m²を超える大規模集客施設はどこが該当するか。

答 26社が立地している。1万²m²を超える大規模施設はチエリオのみである。

■議案第57号 鹿嶋市営駐車場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

消費税の税率が引き上げられることに伴い、利用料金を改定するもの。

問 利用料金が300円から310円に改定されるが、今後の徴収方法の見直しは。

答 310円は条例上の上限額で、実際の利用料金は市とシルバー人材センター（指定管理者）とで協議決定する。無人ゲート化はオンラインピックとの関係から、2年後を目指して進めていきたい。

採決の結果、都市経済委員会で審査した12議案は全て全員賛成で原案のとおり可決すべきと決定しました。



大野潮騒はまなす公園の現地調査

しました

その結果をお知らせします。

屋内温水プール整備事業

4億5,382万7,000円

継続

評価 A 大野地区への整備が期待されていた屋内温水プール「いきいきゆめプール」の整備事業であり、大野地区住民の利用が期待されるものである。既存の高松緑地温水プールの利用者数を減らすことなく、新たな利用者数を増やしていることから、利用者が利用しやすいプール整備ができたものと、十分評価できる。

継続 市民に喜ばれるプールが設置されたので、今後は利用者の声を聞き、利用しやすい環境の整備が求められる。少数意見もよく集約し、利用者のニーズに合った運営を行っていくこと。

図書館管理経費

1,355万7,000円

拡充

評価 B 図書館は、市民の学びの場として必要不可欠な施設である。貸出者数、貸出冊数とも増加しており、図書館の利用ニーズは年々高まっている。借地料が予算の半分を占めるなか、限られた予算の中で行われた事業として、評価はできる。

拡充 経年劣化による建物の老朽化が喫緊の課題である。修繕を繰り返すよりも、建て替えの必要性を視野に入れ、十分に検討をする必要がある。図書館への投資は、未来への投資である。大変重要なものとして市の政策への位置づけが必要である。住民サービス機能の付加、カフェスペースの設置等市民のニーズをよく聞いたうえで、今後の計画をつくっていくこと。

ごみ処理施設管理経費

3億9,938万3,000円

改善

評価 B 各家庭から排出される不燃ごみ・粗大ごみの処理施設、資源化施設の維持管理にかかる経費であり、市民生活に大きく影響するために必要性は高い。また、コスト削減においては、排出時のごみの分別や減量が大切で、市民の協力が必要な事業でもある。ごみ分別の向上や減量への取り組みにおいて、一層の努力が必要である。

改善 不燃ごみの中に混じる資源ごみがないように、ごみ分別の徹底と、それに見合ったごみの回収方法の改善を含め、創意工夫をしながら取り組んでほしい。分別方法について市民一人ひとりへ周知する取り組みや、分別意識の向上のために分別や処理の現状・資源化状況の情報を共有する取り組みなど展開を望む。

荒野台地区雨水排水整備事業

9,355万4,000円

継続

評価 B 荒野台地区において長年の懸案であった、雨天時における道路冠水及び宅地等の浸水被害を低減・解消し、市民の生活環境の改善を図ることを目的に取り組んでいる本事業は妥当である。整備期間・整備費については、5年間の長期にわたるものの、総事業費10億円を見込んでいることから、事業費の平準化を図りながら、国庫補助を有効活用し整備を行っており適切である。

継続 本事業の設計雨量は事業認可の53.1mm/時であるものの、近年の豪雨実績は設計を超える雨量を記録しているところであるが、調整池を有するなど対策が講じられており評価できる。

ふるさと納税推進事業

1億130万9,000円

改善

評価 C 他自治体と比較すると税収の獲得やコスト削減において、まだまだ努力できる余地があると判断し、有効性・効率性は低く今後の一層の努力を期待する。

改善 本事業を積極的に取り組むことは、税収面だけでなく、返礼品生産者の視点でも、地域活性化の一助ともなる。制度をより活用し、アントラズホームタウンとしての優位性を活かすことや、加工場等から直接仕入れるなど返礼品の原価を下げられるような工夫だけでなく、地場産業の育成という観点からも返礼品の開発に取り組んでいき、今以上に創意工夫しながら積極的な事業展開を望む。



9事業を抽出し評価

予算決算常任委員会の各分科会では、平成30年度の決算審査として、事業の評価を行いました。

【決算評価】 A…十分評価できる B…やや評価できる C…あまり評価できない D…全く評価できない

【今後の方向性】 **拡充** 事業内容をさらに充実して継続 **継続** 現在の水準で継続 **改善** 改善・効率化して継続

広報活動経費

1,223万7,000円

A **継続**

評価 A 本事業は、市民生活に密接かつ必要な行政情報を市民に提供するための事業で、必要性は高い。また、メール一斉配信システムや複数のSNS、無料アプリ「マチイロ」などコストをかけることなく、新しい取り組みにチャレンジして、効果的に活用している努力はとても評価できる。

継続 事業費を増やすことは難しいと判断するが、時代に合った情報発信を的確に実施して欲しい。また、広報紙に関しては、新聞購読者の減少や自治会加入者の減少など社会状況を鑑み、今後は配布方法の検討も含め、どのような情報をどのように発信していくのか、市民ニーズを的確に捉えてより一層の努力を期待する。加えて、一方的な発信だけではなく、双方向のコミュニケーションができる広報活動の事業展開を望む。

0102号線市道整備事業

8,619万1,000円

A **継続**

評価 A 25年の期間を経て、来年6月を目処に幹線道路における交通ネットワークの形成が図られる。工業地帯への通勤として、かなり多くの交通量が見込まれており、朝夕の渋滞解消にも大変期待できる。通学路も、これまで歩道もなく狭い道幅で混在している状況が、路線整備により、安全安心な通学路としても期待できる。

継続 道路開通にあわせ交通量や交通経路が大幅に変化することが推測されるため、信号機の設置や自転車道の識別塗装・高速バス停留所の安全対策などに万全を期するよう要請する。開通の見込みが立ったところであるが、全線開通期限の必達をお願いする。

まちづくり市民センター管理費

1,755万4,000円

A **拡充**

評価 A まちづくり市民センターでは、さまざまな団体が活発に活動を行っており、市民レベルの向上へとつながっている。また夜9時まで開館していることから、学生の学習スペースとしても安全に利用されており、保護者としても安心できる環境・整備が整えられている。市民の利用頻度が高く、利用者からも評判のいい施設である。

拡充 公民館施設として、利用者の固定化が懸念される。もっと幅広く、いろいろな方に利用してもらえるようなアイデア・呼びかけが必要である。将来的には大規模な工事等が必要となることも想定される。まちづくりセンターの中心施設として、目的にあった建物にしなくてはいけないときが必ずくるので、それを視野に入れて考えていく必要がある。

海水浴場管理運営事業

1,369万9,000円

A **拡充**

評価 A 快適で安全な海水浴場を開設することで当市への誘客促進を図る観点から、必要かつ妥当と判断する。適正な安全対策として、ライフガード、水上バイク巡視の対策を講じており水難事故防止が図られている。また、トイレ衛生や海岸美化も適切に管理され、海水浴客を迎え入れる体制も確立されている。

拡充 地元経済への波及観点からも、全国的な課題となっている海離れ問題に対し観光関連団体と連携しながら、積極的に誘致促進を図っているものの、現状の効果は限定的であり、市内の飲食店等への経済効果や観光資源への波及策の検討がさらに必要である。今後の観光インバウンド需要も考慮し期待できる。

一般質問は、私たちの生活にかかわりの深い事柄について質問するものです。掲載した内容の詳細は、鹿嶋市議会のホームページにある「インターネット中継」または「録音中継」をご利用ください。



このQRコードまたは各議員の顔写真下のQRコードから一般質問の映像がご覧いただけます。



さとう のぶなり
佐藤 信成 議員
〔発言時間＝90分〕



Q 歴史資料館問題について

佐藤

説明会での97人のアンケート結果を市の動静調査として十分とする、その根拠はなにか。

A 総合的に妥当と判断した

副市長

後期基本計画策定のための市民意識調査では、67・7%の人が「鹿島神宮をはじめとする歴史環境の魅力が高い」、80・1%の人たちが「住みよい」と答え、その理由のトップが「鹿島神宮をはじめとする神社や史跡等の歴史環境に恵まれている」と答えている。説明会でのアンケートは、歴史館等の施設がにぎわいに役立つと答えた人が38%、ある程度は役立つを含めれば68%とい

う結果であった。また、請願をいただいた内容等々、総合的に見て妥当と判断した。

佐藤

大前提の無作為抽出の人たちに聞かなければだめだ。夕方6時に集まる方々というのは、よほど興味がある人だ。子育て世代は、まず参加できない。また、参加者は60代・70代の方々が大部分だ。無作為抽出で、建設の賛否のアンケートをとるべきだと考える。

**地域活性化
担当参事**

市政懇談会、意見交換会、検討委員会や関係団体等からも意見を伺った。維持費についても資料を示して説明をした。現時点でアンケート調査を実施する予定はない。

佐藤

実施すると、反対意見のほうが多いことがわかっているから、怖くてアンケートができないのではないか。

副市長

私も、これまでの数字の積み上げの中で理解はされているという、そういう解釈をしている。

Q 公開承認施設にする可能性について

佐藤

歴史資料館を、年間維持費が1億6千万円かかる公開承認施設にする可能性はあるのか。

A 現状、予定はない

**地域活性化
担当参事**

現状、公開承認施設にする予定はないが、そうしたほうがよいという声が多くあれば、検討の余地はある。

佐藤

97人にアンケートをして、66人がしてもらいたいと言え、可能性があるということか。大きな問題なので、市民に知らせていく。

**Q 東海第二原発の再稼働の
反対・廃炉の表明を**

川井

20年前、JCOで臨界事故が起こり、2人の尊い命が犠牲になった。また、8年前の福島での事故の環境的影響が、いまだ収束していない経過から見ても、東海第二原発の再稼働20年延長は無謀な計画と考える。市長は再稼働に反対し、廃炉表明することを求めるがいかがか。

**A 関連自治体の動向を注視して
いきたい**

市長

東海第二原発の再稼働については、県や30キロメートル圏内の自治体の動向を注視していきたい。廃炉については、国



かわい ひろこ
川井 宏子 議員

(発言時間 = 90分)

のエネルギー政策、関連自治体の協議結果を考慮した上で判断されるべき問題。個人の明確な意見や態度決定は差し控える。

**Q 原発事故が起きた場合の
シミュレーションは**

川井

東海第二原発付近が震源となる地震が頻発している。日曜日や祝日、サッカーの試合のときなど、事故が起こった場合のシミュレーションは考えているのか。

**A 緊急的な避難の必要は想定
されない**

市民生活部長

観光客やサッカー観戦者など来訪者の対応については、緊急的な避難の必要は想定されない。事故の影響に応じて個別対応することになる。

**Q 市民の避難と生活への影
響は**

川井

東海第二原発で事故が起きた場合の鹿嶋市民の避

難と生活への影響についてどのような予測と想定をしているのか伺う。

**A 避難を要する事態は生じな
い**

市民生活部長

国の指針では、事故時の放射性物質放出に伴う空間線量の上昇は短時間で減少するため、30km圏外の基本的な避難行動は屋内退避までとしており、本市において、市外に避難を要する事態は基本的に生じないと認識している。生活への影響については、土壌や建築物への放射性物質の沈着、農水産物への被害など、事故時の風向きや降雨などの気象状況によっては、一定程度の影響が想定される。

【こんな質問もありました】

- ①高齢者の補聴器購入の助成について
- ②相談窓口の充実について
- ③部活動に対する助成について
- ④通学路の安全性について

ここが知りたい！ 一般質問



こいけ 小池 みよ子 議員
〔発言時間＝60分〕



Q デマンド型乗り合いタクシーについて

小池 この制度がスタートして1年、登録者数・目的施設の推移と平均利用者数とランニングコストについて伺う。

A 利用者は4倍以上の増加

政策企画部長 登録者数については、運行を開始した平成30年7月4日時点で266人だったものが、直近の本年7月末時点で1232人となっている。1日の平均利用者数については、平成30年7月末時点で11・7人、本年7月末時点で47・6人となっている。目的施設数は本年7月末時点で118カ所、その内民間施設は79カ所となっている。今年度の運行に係

る市負担額と運賃収入については、運行経費3845万1000円、運賃等の収入677万5000円となり、差し引き3167万6000円が市の負担となるものと試算している。

Q 特別教室の冷房設置は

小池 今夏、市内全小中学校の普通教室の冷房化が完了した。しかし、音楽室や理科室、美術室等特別教室には設置されていない。今後の対応について伺う。

A 利用状況を調査する

教育長 特別教室については、学校の規模等によって利用頻度が大きく異なることから、改めて利用状況などを調査した上で計画的に整備していきたい。

Q 英語教育の成果は

小池 市の英語教育は当初の目標どおり進んでいるのか。全国一斉学力テストの成績はどうだったのか伺う。

A 他市に十分自慢できる成績である

教育長 全国学力・学習調査の英語の結果については、公立校の「聞く」「読む」「書く」の技能の正答率は全国平均を2ポイント程度上回っている。「話す」ことについては、参考値ではあるが、全国平均を10ポイント以上上回っている。今後は、一層力を伸ばすため、中学2年生のGTEC（受験以降、的確な指導を受けた中学3年生の力を検証し、今後の施策検討のエビデンス、施策の充実・拡大につなげるため、中学3年生でのGTECの導入について検討していく。

※GTECとは：英語における「読む」「聞く」「書く」「話す」の4技能をスコア型の絶対評価で測定する検定。新しい大学入試制度において多くの大学が採用を予定している。

【こんな質問もありました】

- ① 私立保育園等へのA・L・T派遣について
- ② ふるさと納税について
- ③ 市庁舎駐車場の有料化について

ここが知りたい！ 一般質問

Q 花火大会の開催場所は

栗林

花火大会を、企業や団体、市民の皆様からの寄附が還元できる場所である、スタジアム周辺で実施することはできないか。

A 現在の場所です実施していく

**経済振
興部長**

本市の花火大会は、国内として認知されている点や、安全確保の観点から、スタジアムや市街地で実施するのは難しいと判断している。今後についても、現在の場所です実施していくことを考えている。

Q 歴史展示はアニメやVRなどの工夫を

栗林

自分の街への誇りや、先祖に思いを巡らせ、子孫へのその営みをつなげることが必要であり、複合施設の歴史展示も工夫をすべき。また、歴史展示のほかにどのような機能を考えているのか。

A 最新の技術を用いた方法を検討

**地域活性化
担当参事**

歴史展示については、最新の技術を用いても視覚的に手軽に学べる方法についても検討していく。

また、複合施設の機能は協議を行いながら慎重に決定していくが、歴史展示機能、子育て支援センター等を想定した子育て機能、高齢者等のサークル活動や発表の場となる交流機能、市内の観光資源や特産品のPR等を行う観光物産機能等を想定している。

Q 北浦沿いに公園を

栗林

爪木ノ鼻地区からの夕日は美しく、右に北浦大橋と筑波山、左に神宮橋と鹿島臨海

工業地帯の夜景と、自然景観に恵まれた場所である。爪木ノ鼻地区に公園を整備する可能性はあるか。

A サイクリングロードと一体的な公園整備を

**経済振
興部長**

公園整備の必要性は十分認識しているが、多額の費用が想定され、市単独での公園整備については難しい。

しかし、県が推進しているつくば霞ヶ浦りんりんロード整備事業の中で、爪木ノ鼻地区に休憩所等の拠点施設を誘致することにより、サイクリングロードと一体となった公園整備について調査研究をしていく。

【こんな質問もありました】

- ① 空き家等対策について
- ② 北浦水質浄化について
- ③ 広域観光について
- ④ 道路標識見直しについて



くりばやし きょうこ
栗林 京子 議員

[発言時間 = 60分]





かわつ 河津 けんじ 議員
〔発言時間＝60分〕



Q 鹿島アントラーズの経営権が変わったが

河津

鹿島アントラーズの経営権が日本製鉄からメルカリになったが、株式の譲渡について市長はいつどのような説明を受け、どのような考え方をしているのか伺う。

A 引き続きクラブの発展を支援する

市長

7月18日に日本製鉄、クラブの関係者が来庁し、メルカリへの株式の譲渡について相談があった。市長として、チーム名やホームタウンは変更せず、スタジアムを利用し続けることを前提として、日本製鉄にはこれまで同様クラブの主要株主として経

営に関与すること、メルカリに対してはクラブの歴史と地域との関係性を重視し、クラブとホームタウンの発展に尽力していただけるよう強く申し入れた。市としてもほかのホームタウン各市と連携し、クラブのさらなる発展に向けて引き続き支援をしていく。

Q インバウンド対策について

河津

鹿嶋市の観光施策における、外国人の観光客を増やすための取り組みについて伺う。

A 情報発信とスポーツツーリズム

経済振興部長

まずプロモーション活動による誘客促進を実施していく。次に、アントラーズホームタウンDMOによるスポーツツーリズムの取り組み。海外からの誘致について着実に成果を上げており、さらなる誘致拡大を上げている状況である。また、その他、多言語化を含む観光サインの整備、鹿島神宮ツアーバス誘致事業が外国人向けの取り組みに関連するものと考えている。

Q eスポーツの大会を鹿嶋で

河津

eスポーツはインターネットゲームなので環境さえ整えばプレーできる。鹿嶋市ではスタジアム、スポーツセンターのほか、勤労文化会館も使えると考えている。eスポーツの大会を開催することを検討してみてもどうか。

A 大会開催の可能性を調査する

経済振興部長

eスポーツについては、交流人口の拡大や観光振興からも有効なコンテンツとなり得る。スポーツ担当とも連携しながら、地域の活性化につながる取り組みについて模索しながら、大会開催の可能性を調査していきたい。



ここが知りたい！ 一般質問

Q 可燃ごみの個別搬入場所は

舛井

新しい処理施設建設後の可燃廃棄物の個別搬入場所は、これまでどおりの場所である現在のRDFセンター跡地が中継施設となる旨決定でよいのか。

A RDFセンターで決定したと判断している

廃棄物処理施設建設担当参事

新施設整備は市民の利便性を低下させないことを第一に神栖市と協議を進めている。鹿嶋RDFセンターの中継施設とする方針は決定したものと判断している。

Q 人口増にはトップセールスが必須

舛井

鹿嶋市の人口ビジョン達成には、人口増につながる企業を誘致するため、市長以下執行部の精力的な各種分野へのトップセールスが重要と考えるがいかがか。

A 地元の雇用環境が重要

市長

地方創生を成功させるためには、地元の雇用環境が重要であると認識している。今後も、私自身が先頭に立って新規企業の誘致に努め、既存企業に対しても地域において円滑な経済活動ができるよう、またそこに働く人々が公私ともに充実した生活が送れるような環境整備に向け、必要な支援を行っていききたい。

Q 図書館機能に付加価値を

舛井

図書館の開館時間延長及び蔵書の増、さらには増築によるカフェスペース、勉強スペースの増等、図書館機能だけでなく、ほかの付加価値も求める数

多い市民の声に対する市の考えを伺う。

A 令和6年度に大規模改修予定

教育委員会事務局部長

過去に試行的に閉館時間が延長された際、来館者が少なかったこともあり、現在の時間に落ち着いた経緯がある。再度検証し、その結果を踏まえ今後その閉館時間を決定していきたい。飲食や学習スペースの確保等は、令和6年度に予定している大規模改修工事にあわせて検討する。引き続き蔵書数の増加や開館時間の拡充など、利用者の利便性向上のため見直し等を行い、利用促進を図っていききたい。



あきひろ ますみ
舛井 明宏 議員

[発言時間= 60分]



ここが知りたい！ 一般質問



うちだ まさぶみ
内田 政文 議員
〔発言時間＝60分〕



Q 大野潮騒はまなす公園のリニューアル計画について

内田 平成2年4月に開園した総面積約9ヘクタールの大野潮騒はまなす公園のリニューアル計画について伺う。

A 条例化して計画を推進

市長 本年10月1日より、現在の条例に基づく「その他の公園」から、都市公園法に基づく「都市公園」に移行すること、国の補助事業や交付金の対象となるなど、財源の確保が可能になる。公園全体を見直し、魅力ある公園づくりを目指していく。



Q 鹿嶋市農地利用最適化推進委員会について

内田 前年度設立され任命された推進委員の役割について伺う。

A 3つの役割を担っている

農業委員会事務局長 役割として、農地利用の集積・集約化、

遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進による農地等の利用率及び高度化の3点となっている。

Q 水道事業について

内田 大野区域（給水率45・14%）と鹿島区域（給水率88・96%）水道事業の統合の中で、今後の経営を伺う。

A 水道料金の値上げはしない

都市整備部長 水道事業統合後においても、利益を計上できるものと試算している。引き続き、水道事業の経営の健全化・効率化と経費削減、安全・安心な水道水の提供に努めていく。

Q 歴史・交流館について

内田 歴史・交流館の経緯、経過及び今後の建設までのスケジュールについて伺う。

A 市民や関係団体、歴史や建築に関する専門家などの意見を聞き、慎重に決定していく

地域活性化担当参事 全国に誇れる2500年にわたる鹿嶋の悠久の歴史を市民に知っていただき、郷土愛の醸成につなげていくことを経緯としている。経過については民間活力を主体とした活性化計画の策定をもとに歴史資料館から交流機能を備えた複合施設へと計画は推移した。今後のスケジュールとしては、本年11月に計画について内閣府の認定をいただき、その後補助申請を行う。令和2年度から2年程度の期間で用地交渉を行い、令和3年度から令和4年度に検討委員会を組織し慎重に施設計画と展示計画を決定。そして、令和5年度に建設工事に着手していき



ひぐち ふじお
樋口 富士男 議員

〔発言時間＝60分〕



Q 食育の取り組みは

樋口

地元産の野菜などを給食に採用しているが、公立の園や学校の給食を通しての食育はどのように行っているのか。また、食育のあり方について市の考えを伺う。

A 鹿島灘しらすやピーマンを使用

**教育委員会
事務局部長**

地元産の鹿島灘しらすやピーマンを使った給食を提供している状況。今後、子どもたちが給食を通して健康的な生活習慣を身につけ、食で育む元気な身体と豊かな心を養うことができるよう、幼稚園・保育園・学校・家庭・地域・生産者等と連携しながら、食育の充実を

図っていく。

Q 食育相談の拡充は

樋口

鹿島アントラーズや高齢者の食事会、子ども食堂に取り組んでいる団体等が活動している中、市として食育相談の拡充等は考えているのか。

A 地域全体での食育推進に努める

**健康福祉
社部長**

乳幼児期から継続した食育事業における地域でのネットワーク拡大に取り組むとともに、県公式健康アプリの普及を図る。新たな取り組みとして、加速化する高齢化に向けて75歳以上の後期高齢者を対象に保健事業と介護事業の一体的な推進によりフレイル対策等の強化をしていく。

※フレイルとは…加齢とともに運動機能や認知機能等が低下した虚弱な状態を指し、健康な状態と日常生活で介護が必要な状態の中間の状態。

Q イノシシ捕獲の体制は

樋口

鳥獣被害防止計画の策定と、県から補助が出る鳥

獣被害対策実施隊の設置について、進捗状況は。

A 年度内の策定・設置を予定

**経済振
興部長**

鳥獣被害特措法に基づく手順に沿って準備を進めている。年度内には鳥獣被害防止計画を策定し、鳥獣被害対策実施隊を設置する。国・県補助金を有効に活用し、対策を講じていきたい。

Q 森林環境譲与税の有効活用は

樋口

森林環境譲与税を、道路上にかかる危険度が高く、近隣の迷惑になる樹木の剪定や荒れ放題になっている森林の伐採、イノシシが身を隠せる森林の整備に活用できないのか。

A ガイドラインの内容を踏まえる

**経済振
興部長**

現在、県において作成中であるガイドラインの内容を踏まえて、市としての有効な使い道を検討していく。

ここが知りたい！ 一般質問



すがや つよし
菅谷 毅 議員
〔発言時間＝60分〕



Q 公立幼稚園・保育園の再編方針を問う

菅谷

公立幼稚園・保育園の役割は大変重要と考えるが、市の見解を伺う。また、鹿野中学校区には公立の園がなくなる方針だが配置バランスとして問題はないか。

A 公立は私立の先導役

教育長

公立幼稚園・保育園の役割としては、幼児期の実情に即応した幼児教育・保育の向上を図ることなど、鹿嶋市幼児教育の先導役としての役割を担うものと位置付けている。配置については、認定こども園等の施設が開所したことを踏まえての方針で、問題があるとは考えていない。

Q 戦争体験談など平和人権教育を進めては

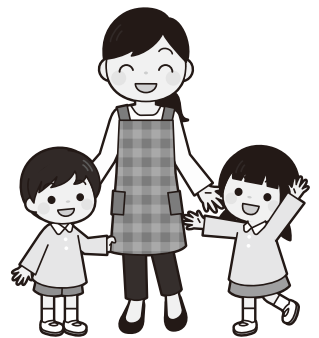
菅谷

非核平和都市宣言都市として、これまでの市独自の平和教育の実績と今後の方針を伺う。

A 既存事業の充実を図る

**教育委員会
事務局部長**

平和教育に関する市独自の取り組みはなが、道徳教育を市内小中学校で充実させることが市独自の平和教育の実施と同等の価値があると認識している。また、図書館事業や教育センターの事業等現在実施している事業の充実を図りながら、平和の心を育む教育を進めていきたい。



Q 自治基本条例の必要性は

菅谷

自治基本条例は、自治体運営の基本原則であり、大事な条例である。条例の目的は、重要政策への市民の意見集約や合意形成にあり、歴史館・交流館の賛否が問われる今こそ必要ではないか。

A まちづくり推進大綱に反映していく

政策企画部長

平成31年3月に中断して、自治基本条例の制定は当面見送り、策定中の共創のまちづくり推進大綱に反映させるよう努めることと承認をいただき決定した。

市民生活部長

市民の意見集約や合意形成については、広聴機能の充実、審議会等への公募委員の拡充や政策の周知など、年齢層も含めて市民の要望や意見を幅広く伺っていく。

ここが知りたい！ 一般質問



こまつざきとしのり
小松崎 敏紀 議員
〔発言時間＝90分〕

Q※ SDGs未来都市について

小松崎

世界的にも、SDGsに積極的に取り組むメリット、取り組まないリスクを考慮し、「SDGsに協力して競争する時代」へと移りつつある。民間だけでなく地方自治体もSDGsの視点で取り組んでいかなければならない時代がくる。市でも、今後解決しなければならぬ地域課題、社会的課題についてSDGsの理念に沿った基本的、総合的な取り組みの推進を考えてはどうか。

A SDGsの理念や考え方を盛り込む

市長

市としても、SDGsを原動力とした地方創生を

進めていくため、次期総合計画や総合戦略作成にあたっては、その理念や考え方を盛り込み、市民が安心して暮らせる持続可能なまちづくりと地域活性化を実現していく。

Q 市の農業振興について

小松崎

農産物加工場を整備することで鹿嶋市名産の商品開発が市民の力で活発化すると考える。市の6次産業の支援はどのようなことを行っているのか。

A 国・県の事業を積極的に活用

経済振興部長

茨城6次産業化サポートセンターと協力し、経営の見直しや事業計画、商品開発から販売に至るまでの相談を受け、6次産業化プランナーを派遣しながらサポートを行っている。また、事業を進めるための必要資機材の導入支援などについても、国・県の事業を積極的に活用している。

Q 市の地域福祉について

小松崎

今後の高齢社会を考えると、介護・医療施設の病床数が不足し、在宅医療は今以上に必要になってくる。市では、在宅介護、在宅看取りについてどのように考えているか。

A 連携体制の構築を推進

健康福祉部長

市では、一体的な在宅医療・介護連携推進事業を平成26年度から開始しており、地域の医師会や関係機関との緊密な連携体制の構築を推進している。在宅看取りについても、研修会や講演会等で、ケアチーム等と話し合い共有し、支えていくきっかけづくりや終活ノートの配布をおしりて市民への周知を図っているところである。

【こんな質問もありました】

①市の総合計画策定に関して

②農業の鳥獣対策について

③2040年問題について

ここが知りたい！ 一般質問



たぐち しげる
田口 茂 議員
(発言時間 = 90分)



Q 観光業・農業・漁業を経済活性化の目玉に

田口

鹿嶋市の農業生産高は約40億円、銚田市は800億円。抜本的な取り組みが必要だ。例えば、鹿島港より鹿島漁港にもっと力を入れるべきと考えるが見解を伺う。

A 観光業・農業・漁業は重要

経済振興部長

観光産業の振興には、鹿島神宮などの観光資源を組み合わせた着地型、体験型旅行商品の造成、お土産などの商品開発、インバウンドに対する取り組みなど、期待を込める素材は多岐にわたる状況。魅力ある農業振興については、儲かる農業に向けて、各種補助事業による支援をはじめ、農

Q ホテル ルートイン鹿嶋 付近に高速バス停を

田口

高速バスの駐車場問題については、国道124号線でバスに乗れる場所、ルートイン近くにバス停をつくることによって解決できると考えるが、いかがか。

A 具体化に向けて調整を進める

政策企画部長

市全体の利便性が向上するものと考え、バス事業

者との協議やバス停の候補地などについての検討を進めている。今後、バス停の位置を確定した上で、具体化に向けて関係機関との調整を進めていきたい。

Q 免許返納者へ行政支援を

田口

免許返納者や認知症の個人賠償の問題、それに対する行政支援をする時を迎えているのではないか。市は公共交通の利用パスポート等を福祉のひとつとして検討してはいかがか。

A 調査研究をしていく

健康福祉部長

一部、認知症の方が交通事故等で加害者となった場合に、民間保険の掛金を公的負担する等の行政支援を行っているようなところもあり、市としては、免許返納者に対する支援等と合わせて、国や県等の動向等調査・研究をしていく。

【こんな質問もありました】

④ 鹿嶋市まち・ひと・しごと創生総合戦略について
⑤ 高齢者福祉について

ここが知りたい！ 一般質問

Q 情報伝達の数値化・検証を

笹沼

市の情報が伝えたい人に伝わらず、欲しい人に届いていない。そんなすれ違いが行政と住民において起きています。発信した情報が、何を、いつ、どこで、誰に、どんな方法で伝わっているのかを数値化して、計画的に検証し、そして戦略的に実施すべきと考えるのがいかがか。

A ニーズの把握は必要不可欠

政策企画部長

情報を受け取る側のニーズの把握は必要不可欠であるものと考えています。市では現在ホームページの全面リニューアルに取り組んでおり、この中で、SNSを活用した双方向の情報発

Q 公園整備計画について

信について強化を図っていきたい。

笹沼

共創のまちづくりを掲げる市の公園整備に関するビジョン、理念や方向性を伺う。

A 地域の実情に応じた整備を推進

都市整備部長

本市都市計画マスタープランでは「誰もが安心して自然を満喫できる豊かな空間の整備」を掲げ、「機能に応じたパランスのよい公園・緑地の配置」に努めるとしている。この方針に基づき、地域の実情に応じた公園整備を積極的に推進してきたが、今後は、既存施設の老朽化に対する長寿命化対策を講じるとともに引き続き、市民の憩いの空間として、多くの人に愛される施設へとリニューアルしていくための計画等を策定し、計画の実現に向けた取り組みを推進していく。

Q 市の将来像について

笹沼

市の定住自立圏構想に関する進捗は。また、市町村合併の今後の可能性と市長の思いについて伺う。

A 広域連携の重要性を再認識

市長

平成28年2月に開催された鹿行市長協議会において、定住自立圏構想についての勉強会を実施し、将来的な広域連携の重要性を再認識してきたところである。継続的に各市長との広域連携に関する勉強の場づくりを呼びかけていき、まずは定住自立圏構築の可能性を探っていきたいと考えている。



ささぬま やすひろ
笹沼 康弘 議員

(発言時間= 45分)



ここが知りたい！ 一般質問



たちばな ひろいち
立原 弘一議員
〔発言時間＝90分〕



Q 幼児教育・保育料無償化に伴う問題

立原

3歳から5歳児の幼児教育・保育の無償化に伴う副食費について、実費徴収化により市町村が保育所等に払う1人当たりの運営費が実質的に月額600円引き下げられることが明らかになったが、市の見解を伺う。

A 困惑している

教育委員会 事務局部長

保育料無償化に伴い、副食費の実費徴収と減額された施設運営費の差額が600円発生している点について把握したのは、先日県から法定価格のメールが届き把握したところ。他市の担当者も同様に困惑している。園の運営費に係る法定価格の

問題は、鹿嶋市だけの問題ではなく、全国的な問題と捉えており、状況や内容を確認した上で、県を通じ、国に問題提起すべき内容と捉えている。

Q デマンド型乗り合いタクシーについて市の考えは

立原

デマンド型タクシーについて、便数の増加・予約のあり方・範囲の拡大など、さまざまなことが求められるが、市の考えを伺う。

A 改善策を継続して協議していく

政策企画部長

デマンド型乗り合いタクシーの導入については、持続可能な公共交通体系などの観点から総合的に検討した上で、最も有効であるとの判断により運行が開始された経緯がある。その中で市民から多くの要望が寄せられているのは十分に認識している。引き続き、改善策について、事業者などと協議を進めていく。

Q 過重労働解消キャンペーンの重点監督の実施結果

立原

茨城県労働局が「平成30年度過重労働解消キャンペーン」の重点監督の実施結果を公表した。市内に対象事例はあったか。

A 公表できないとの回答

経済振興部長

鹿嶋労働基準監督署に問い合わせをしたところ、公表することで事業者が特定され不利益を被る可能性があるということ、また労働基準法第105条において守秘義務が課されていることから、「市内対象事例の有無を公表することはできない」という回答であった。

【こんな質問もありました】

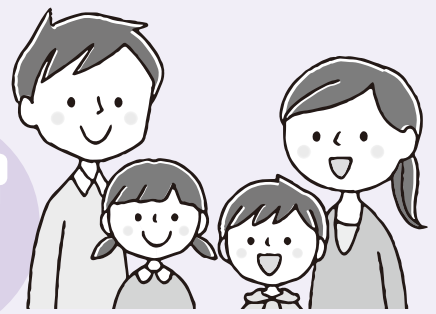
⑧ 農漁業問題について

⑨ 市長専決処分のあり方について

子育てについて活発な意見交換を行いました！

特集
意見交換会

きかせて！ あなたの声



地元の人と新しい人の交流と働いている人と働いていない人の交流も希薄

保育の充実

耳鼻科と皮膚科が欲しい。予約しないと見てもらえないことが不便

教育や治安については安心

子育てのサポートを充実してもらわないと「もう一人」とはならない

地元へ戻ってくるような政策が必要

保育施設が閉園した後の利用にも検討

学童に預けるにあたってのルールが仕事をしながらの保護者には、不便

働き世代の女性が求めているのは、柔軟な働き方を認めてくれる社会全体の環境

交通の便が悪い

学童の充実

学童の料金も頑張らないと払うのが大変

バスに乗ってみたいと思うが、行っても帰りのバスがなかったことを考えると利用できない

放課後子ども教室と児童クラブについてもっと周知してもらえば、利用する人も増える

良い街なのですが、アピールが上手じゃない

ゴミ当番でも子どもを連れて行くことで、当番ができる状況でない

行政には情報を体系的に発信してほしい

子どもが減ってきている現状に、対策が大切

待機児童の解消

通学路について不公平があるように感じる

学童などの情報がもっと欲しい

2人預けようと思うと別々の幼稚園に入れるようになる

広報についても力を入れてほしい

教育の場で掃除をする機会が減ったことが将来不安

市役所に民間のパンフレットを含め揃っていたらよい

ママさんたちで交流できる場があると良い

保育士の給料の検討

仕事をしていると、子どもの栄養源は給食に頼っている

市内でお買い物もできて子どもも遊べる施設があると良い

暑くても、寒くても、雨でも遊べるところが欲しい

広報は新聞をとってないところには届かない

市役所付近で子育て支援センターのような施設があると便利

お年寄りとの交流があると良い

自治会にどこで入っていいのかが分からなかった

通勤族のひとは、2・3年しかいれないので働くことをあきらめている。でも、実際には能力もあり、やる気のある人が潜在的にいる。そういう人たちを積極的に雇用するシステムがあれば、充実した雇用や子育て支援に繋がっていくのではないかと



8月23日(金)、波野公民館とはまなす公民館の2会場において、「きかせて！あなたの声」と題し、〃かしまでの子育て〃について市民と議会の意見交換会を実施しました。お忙しい時間帯にもかかわらず、当日は19名の市民の方に参加していただき、有意義な意見交換会とすることができました。意見交換会でいただいたさまざまなご意見は全議員へ報告し、今後の議会活動の参考とさせていただきます。ありがとうございました！

—鹿嶋っ子の夢、
応援しています—

きかせて！
あなたの夢



鹿島高等学校3年
徳河涼翔さん

私の夢は、情報セキュリティマネジメントの知識を活かした仕事に就き、育ててもらった鹿嶋に貢献するとともに、親孝行をしたいと考えています。きっかけは、中学生の時でした。TVの特番でサイバー犯罪について取り上げられており、将来専門的な勉強をして、サイバー犯罪を防ぎ、そして社会に貢献したいという思いが溢れてきました。

現在は、専門知識を学ぶ学校に進学するために勉強する傍ら、仕事をしなくていく上で必要とされる

コミュニケーション能力の向上も意識しながら生活しています。

茨城県は魅力度ランキングで最下位であるので、鹿嶋市には、そのランクアップに貢献できるように、若者の集まる街に、若者の期待に応えられる街になってもraitたいです。

鹿島高校に通う涼翔さん。生徒会活動では副会長として、また応援団の団長として大活躍中のこと。夢を実現させ、いつかこの鹿嶋の地でともに働くことができたら嬉しいです。夢に向かって頑張ってください！

(川井、笹沼)

議 会 T O P I C S

「いきいき茨城ゆめ国体」で焼きそばを振る舞いました

9月29日(日)から10月2日(水)の4日間、新浜緑地多目的球技場で議員互助会による焼きそばの販売を行いました。

たくさんのお客様に購入していただき、無事に完売となりました！



「議会報告会」の日程が変更になりました

議会活動を知っていただくとともに、市民の意見を市政に反映させるため、市議会の活動報告と、市民との意見交換会を実施します。

とびら97号において、開催日を11月10日(日)としておりましたが、諸般の事情により、令和2年2月9日(日)に変更となりましたのでお知らせいたします。

開催日▶令和2年2月9日(日)

会 場▶鹿島地区：鹿嶋市役所 3階会議室 10:00～
大野地区：大野ふれあいセンター 2階会議室 14:00～

大勢の方のご来場をお待ちしております。

◆広報広聴委員会

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 小池 みよ子 |
| 副委員長 | 樋口 富士男 |
| 委員 | 菅谷 毅 |
| 委員 | 川井 宏子 |
| 委員 | 小松崎 敏紀 |
| 委員 | 笹沼 康弘 |
| 委員 | 川井 明宏 |

編集後記

菅谷 毅

9月議会開催中に台風15号災害が発生した。政府や千葉県の初動対応が話題となったが、鹿嶋市では予算決算常任委員会開催中であり、ほぼ全管理職が出席することとなった。災害対応のために日程をずらすなどして対応した。近年、災害が頻発している。茨城県の魅力度が全国最下位とされるが、温暖で農産物・海産物が美味しく適度に田舎でも首都圏に近く、何より災害に強い鹿嶋市を誇りに思う。